

「障害者権利条約」学習会

すべての人が 分け隔てられず、差別されずに、 いきいきと 共に暮らせる社会を めざして



国連の「障害者の権利に関する条約」が批准されました。私たちもこれからどんな視点をもち、どんな地域社会をつくっていくべきでしょうか？

ひろしま菓子博2013（第26回全国菓子大博覧会・広島）での電動車椅子問題は記憶に新しいところですが、今回、広通研と同じくNPO法人で活動されている「障害者生活支援センター・てごーす」から講師を招き、研修会を企画しました。

← 抗議文を渡す場面

「障害者権利条約」学習会

【講 師】障害者生活支援センター・てごーす
地域で生きる教育とくらしをめざす会
村上 雅洋さん

【日 時】2月21日(土)10:00~12:00

【場 所】東区地域福祉センター小会議室
(広島市東区東蟹屋町9番34号)

【参加費】無料



【問合せ・申込先】特定非営利

活動法人広島県手話通訳問題研究会

(NPO 手話センターひろしま)

〒732-0052 広島市東区光町1-11-5 チサンマンション広島508

TEL (082)568-6770 FAX (082)568-6771

.....
「障害者権利条約」学習会 申込書 (切り取らず、このままFAXしてください。)

名前(_____)

どれかに○を→ (広通研会員 ろう者 その他の方)

連絡先(_____)

「障害者生活支援センター・てごーす」

てごーすのルーツは、1977 年に結成された「日本脳性マヒ者協会広島青い芝の会」の会員が、公的介護制度もない中、施設や家族の元を出て、無償の介護者をかき集めながら、文字通り命がけの自立生活を始めていったことにあります。90 年代以降、青い芝の会の人たちの自立生活は、深刻な介護者不足から入退院を繰り返したり、命を落としたりする人が続出するという危機的な状況に直面していました。

そこで、青い芝の会も参加して主に教育の問題に取り組んでいた NPO「地域で共に学び合う教育をめざす連絡協議会」(めざす会。1998 年「地域で生きる教育とくらしをめざす会」に名称を変更)で始めた介護保障問題への取り組みをさらに本格化させるため、1998 年に「障害者生活支援センター・てごーす」を立ち上げ、2001 年の NPO 法人格取得を経て、現在に至っています。広島弁の「てごうする」(手助けする)が、名称の由来。全国自立生活センター協議会(JIL)に加盟しています。

